



臨 | 時 | 号



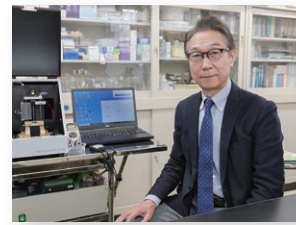
福島県委託
令和5年度大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業 特集号
発行/令和6年3月31日 発行/アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局

試作開発・知財戦略支援を受けて

エースバイオナリシス株式会社
代表取締役 志村 清仁
(福島県立医科大学発ベンチャー)

大学発ベンチャー起業家からのメッセージ

私は福島市の日栄工業(福原修一社長)と共同してタンパク質の分析に革新をもたらす走査検出型キャピラリー等電点電気泳動装置を開発し、この装置と新しい分析法を世界に広めようと5年前に当社を創設しました。特許となっている新しい分析法に必要なのがナノカラムです。細管の途中に設置して液を通す詰め物なのですが、その体積はなんと0.5μL(0.5立方ミリメートル)です。ACFからの支援によって、このナノカラムの製造方法を確立することができました。現在は、この分析法をエリスロポエチンのドーピング検査に応用しようとしています。これにはWADA(世界アンチドーピング機構)からの支援もいただけることになっています。



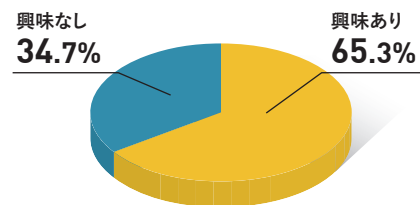
ACFは新たな特許出願に向けた調査でもご支援下さり、ベンチャーにとって、たいへん心強い存在です。

起業等を含む研究成果の社会実装に関するニーズ調査

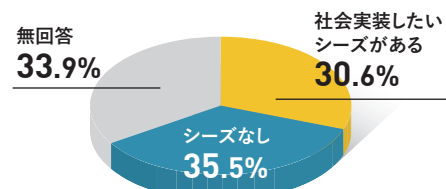
今年度、福島県とACFは、県内アカデミアの研究成果・技術シーズの社会実装(ベンチャー設立・事業化・ライセンス契約等)の可能性を検討する際に参考とするための調査を実施しました。調査結果は、今年度の第2回ACF事業推進会議で報告していますが、主なデータは以下の通りです。

●調査期間：令和5年7月4日～8月7日 ●回答機関数：17機関(19機関中) ●回答数：124件

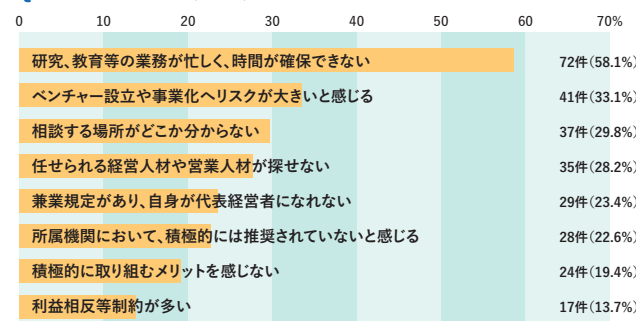
Q.ご自身の研究シーズを活用した社会実装について興味はありますか?



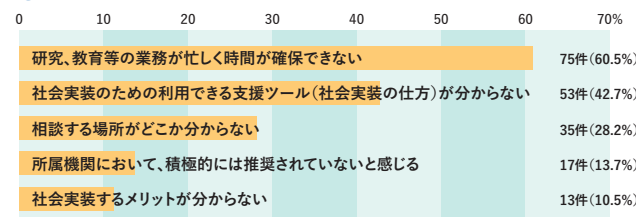
Q.社会実装したい研究シーズはありますか?



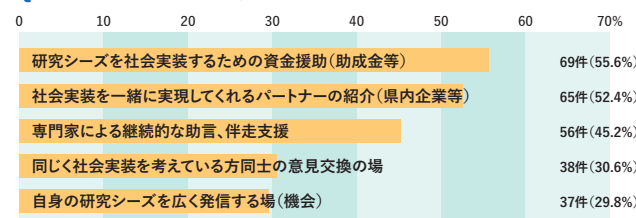
Q.ベンチャー設立(起業)に係る課題(複数回答)



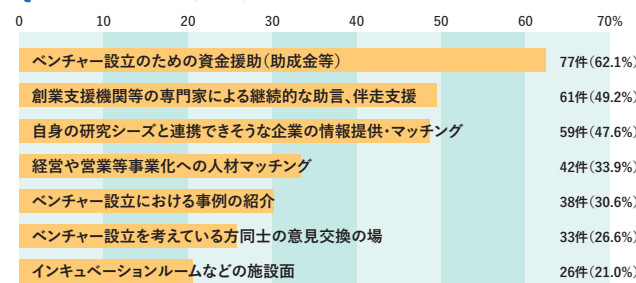
Q.社会実装するにあたっての課題(複数回答)



Q.社会実装を考える際、受けたい支援内容(複数回答)



Q.ベンチャー設立(起業)に受けたい支援(複数回答)



福島県 大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業 (受託:アカデミア・コンソーシアムふくしま)

私たちのふくしま、そして日本や世界が持続的な発展を続けていくためには、イノベーションの連続的な創出が必要であり、大学発ベンチャーは「イノベーションの担い手」として注目されています。特に本県の復興・創生に向けて、アカデミアからのベンチャー創出や起業人材育成に大きな期待が集まっているところです。

ACFではリーディング起業家創出事業(平成30年度～令和2年度)に続き、大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業(令和3年度～令和5年度)を受託し、ベンチャー候補者の発掘から事業化の支

援まで継続して取り組んできました。また併せて「未来の起業家育成プログラム」として大学生等だけでなく、中高と連携して、起業意識を高める授業も実施してきました。

令和5年度でACFでの計6年の当事業は一区切りを迎えますが、今後も産学官の連携によるベンチャー創出、スタートアップ支援はますます重視されます。これからもアカデミアと地域や社会との一層の連携を通して、ふくしまの未来を「ひとつ、ひとつ、実現」していきましょう。



未来の起業家育成プログラム

対象

- 大学・短大生等(公募)
- 中学・高校生(学校連携)

大学生等の起業意欲醸成

- ✓ 地域の起業家を視察し、起業の視点を体感
- ✓ 自らの課題意識を、ビジネスで解決するプランとして作成し、発表!

中高生等の起業関心喚起

- ✓ 地域出身の先輩起業家との交流
- ✓ ロールプレイ形式によりビジネスの仕組み、起業の流れを体験 等

未来の起業家育成プログラム



大学生等向けプログラム

STEP
1

未来の起業家スタートアップセミナー2023 兼 プログラム説明会(公開)

10
Sat
21



福島市を拠点に手術シミュレーション・医療機器トレーニング事業等を展開するイービーエム株式会社(早稲田大学発ベンチャー)代表取締役 朴 栄光 氏より『起業の価値を考える～「とりあえず就職」の前に聞いてほしいこと～』をテーマにパッション溢れるメッセージを頂きました。

次に、ルワンダでの高品質デカフェコーヒー生産事業を展開しているストーリーライン株式会社(東北大学ベンチャー)代表取締役 岩井 順子 氏から『新しいアイデア

を夢を描き実現しよう』と題して「起業」とは「理想的な未来」であり、今の課題をどう解決していくか等をご講演いただきました。学生たちからは、「失敗を恐れずに挑戦してみたい」と意見が多く出されました。

活躍中の起業家による特別講演



手術シミュレーション・医療機器操作トレーニング事業
イービーエム株式会社
代表取締役 朴 栄光 氏



ルワンダでの高品質デカフェコーヒー生産事業
ストーリーライン株式会社
代表取締役 岩井 順子 氏

STEP
2

社会課題解決を図るビジネスアイデア募集・選考

募集期間：10/21sat~11/21tue

STEP
3

起業家育成のプロによるワークショップ

11
Sat
25
WS#1

12
Sat
16
WS#2

令和6年
1
Sat
20
WS#3

指導

インキュベーション
マネジャー/
中小企業診断士
相馬 由寛 氏



講師に相馬由寛さんを迎え、3回のワークショップを通して、社会的課題の分析と解決アイデアをビジネスプランに磨き上げました。

第1回ワークショップ(WS#1)は11月25日、STEP2に応募、選考された4大学の多様な学部から11名が、郡山商工会議所会館(郡山市)に集結。

「起業のプロセス」「顧客への価値提供」をテーマにゼミ形式で学びを深めました。この日初めて会った学生同士がお互いのアイデアを熱心に聴いて意見交換。終了後も会場からなかなか退出せず、学生たちの「ワクワク」が感じられました。

WS#2(12月16日)は「アイデアをビジネスに」「儲けを生み出す仕組み」について実践的に踏み込んで検討しました。参加学生にアルバイトなどの「稼いだ経験」を話してもらい、起業家の着想について思考を深めました。



WS#3(1月20日)はコラッセふくしま(福島市)に会場を移し、シニアリンク・コミュニケーション株式会社 代表取締役 遠藤 康弘氏からも懇切な指導が行われました。また「介護高齢者に、あったらいいなを創る」と題し、逆境でも持続的に成長を続ける福島発のスタートアップをご講演頂き、ふくしまベンチャーアワード2017で最優秀賞を獲得したプレゼンから、大きな共感とベンチャービジネスの神髄を体感しました。



STEP
4

ベンチャーの現場で学ぶツアー

会場：enspace仙台

令和6年
2
Thu
22



東北大学在学中に起業した「数学克服塾MeTa」の春日幹雄氏、仙台高専出身「エニバ」山崎泰晴氏(南相馬市出身)、おふたりの20代の起業家を囲み、スタートアップ支援施設であり、ハードとソフト両面で評価の高いenspace仙台で開催。施設見学やランチ交流会でアイスブレイクの後、お二人の事業と生々しい経験談を伺いました。

「失敗したり、悔しい思い、泣いたこともたくさんあったが、結果的に「起業はめちゃくちゃ楽しい」。一つの事業に拘る必要はない。やりたいと思ったら躊躇なくチャレンジすべき」(春日氏)

「会社経営の仕方は人それぞれ。自分がやりたいことを実現することが何より大切。やりたいことがあるなら、今すぐ東北で「#起業しろ」。覚悟を決めたら『やる』か『絶対やる』かしかない」(山崎氏)

参加学生からもビジネスアイデア発表を行い、お二人から貴重なフィードバックを頂きました。



STEP
5

成果発表会 兼 修了証授与式

会場：郡山商工会議所会館ホール

令和6年
3
Sat
2



当プログラムの締め括りとして、参加学生によるビジネスアイデアのプレゼンを行い成果を発表。県内若手起業家のプレイノベーション 菅家元志氏、Kokageの大島草太氏、およびWS指導の相馬由寛氏(前出)、福島大学 大越正弘特任教授、ならびに福島県産業振興課 四栗副主査、ACF事務局統括マネジャー加藤が指導および座談会に加わり、参加学生と一体となった意見交換や国内外の参考事例、トピックスなど情報共有を行いました。



未来の起業家 育成プログラム(大学生) 感想



福島大学
松本 直

現在検討している廃校も活用しドローンビジネスを進めたい。資金や協力の取り付け方など直接起業家からアドバイス頂ける素晴らしい機会となった。



日本大学
石倉 采佳

当初、何がやりたいのかさまよったが、加藤さんや先輩起業家、相馬先生の助言で徐々に輪郭が浮かび上がってきた。自分と向き合う良い機会となり、起業へ前進できた。



福島大学
山内 鉄心

起業家精神だけでなく、自分のキャリアにおける起業の在り方など、書き切れないほど多くを学べた。特に加藤さんには多くのサポートを頂いた。学んだことを心にとめ準備を進めたい。



日本大学
楯 大地

リアルな起業家の話はとても参考になった。得たノウハウも活用して、スタートアップの準備を進め、起業サークル活動にも活かしたい。他大も含め仲間から刺激をもらった。



福島大学
北山 歩

共感や賛同を得ることの重要性を痛感。収益化など様々な課題に苦戦したが、起業家の方々から多くの手法や考え方を学び、とても充実した時間だった。



日本大学
高橋 匡史

「自分は何をしたいのか」と「何をすればいいのか」が見えてきた。ターゲットをしっかりと絞って、実現したいと思う。ACF事務局の皆さまありがとうございます。



福島大学
黄 子峰

「結果」よりも「プロセス」の重要性。特に仙台研修ではスモールスタートの大切さを学んだ。起業家や先生方のアドバイスに感謝します。

中・高校生プログラム

中・高校と連携し、総合的な学習(探究)の時間として正課の授業に組み込んで実施されました。地域と密接に連携しながら事業展開している起業家とともに、大学でアントレプレナーシップやスタートアップも指導される先生にも参加頂き、中・高大連携含め学びのサポートを行いました。

5
Mon
29

新しいカタチの農業経営と商品開発のノウハウ

福島県立伊達高等学校(商業科2、3年生)

講師

大野農園(株) 代表取締役 大野 栄峰 氏
福島大学 地域未来デザインセンター 大越 正弘 特任教授

「桃を使用した○○○」をテーマに、各班で新商品企画と販売戦略のチームを分けて検討し、最後はバイヤーに見たてた大野さんらに商談(プレゼン)。優勝チームには大野農園様から素敵な賞品が贈呈されるとあって、生徒たちは一生懸命アピールしました。

生徒から
の感想

- 将来起業したいので経営に必要なことを学ぶことができて良かった。
- 普段交流のない下級生とも協力してアイデアを出し合い、楽しく発表できた。
- 教科書ではいまいとピンとこなかったことが、実際に商品開発や販売戦略を検討しイメージがわいた。



9
Fri
15

キッチンカーで追いかける起業家の夢

いわき市立三和中学校(全校生徒)

講師

(株)Kokage 代表取締役 大島 草太 氏
福島大学 経済経営学類 奥本 英樹 教授

大学入学時は教員志望だった大島さん。子どものころの話や、起業のきっかけ、地域や社会課題への想いをお話頂き、奥本先生からは大リーガー大谷選手の例で、未来のビジョンと今のミッションを解説。キッチンカーの体験型学習では、①新メニュー、②キッチンカー改良という2テーマについて班で検討し、プレゼンを行いました。

生徒から
の感想

- パティシエに憧れているので、困難を乗り越えながら夢を実現した大島さんは私の夢を叶える希望になった。
- 温かく楽しく将来を考えることができ、今までで一番楽しい授業だった。
- 正解のない問いに向き合うことが大切だということが分かった。



10
Mon
16

起業としてのナプロアースの取り組みと価値創出

福島県立福島商業高等学校(経営ビジネス科3年生)

講師

(株)ナプロアース 代表取締役会長 池本 篤 氏
福島大学 経済経営学類 奥本 英樹 教授

池本氏から起業への志や「仕事も遊びも一生懸命。人生を楽しもう!」とお話があり、奥本先生から「未来から考える現在と勉強の意味」等について解説がありました。その後ナプロアース社を訪問し廃車リサイクルの過程を見学しました。最後に「自分のスタイルを持つ=スタイリッシュな人になろう!」とお二人から熱いメッセージをいただきました。

生徒から
の感想

- 「幸せとは何か」「未来から考える現在」など、これからの進路に活かせることができると思う。
- ナプロアースの会社を実際に見に行き、話を聞いているより迫力があつた。
- 「幸せ≠お金があること 幸せ=ありがとう」という考え方が心に残った。

